

「高校生防災セミナー」参加実践報告

本年度から来年度にわたり、本校は県教委より「高大連携高校生防災教育推進事業『高校生防災セミナー』」への参加委嘱を受けました。これに伴い、ボランティア部1年生女子生徒4名が中心となり、2年間防災に関するセミナーや行事に参加しながら、全生徒に対する啓発活動を行うことになりました。

以下、現段階までの参加・実践報告をまとめます。

① 津島市役所訪問

津島市役所危機管理課を2度訪ね、自然災害時における津島北高校及び、津島市内の被害予測・防災対策等についてのレクチャーを受けました。

市のハザードマップをいただき、学校周辺における河川の氾濫、大地震への備えについて認識を新たにすることができました。



危機管理課の皆様、お世話になりました

② 「高校生防災セミナー」への参加

夏休み中、4日間にわたり、名古屋大学「減災館」において、13の講義や演習に参加しました。専門的でやや高度な内容も含まれていましたが、興味・関心を持って臨んでいたようです。

「減災」に最も役立つポイントは、災害について様々な「知る」ことであり、彼女らは「みんなで知って、みんなで助かる」をテーマに掲げ、今後の啓発活動を進めていくことにしました。



減災館ツアー



災害図上訓練—D I G—



避難所運営ゲーム—HUG—



計画発表

③周辺自治体のハザードマップ収集

津島市役所でハザードマップの重要性を認識した4人は、自分たちの住む自治体のハザードマップを確認することにしました。どの自治体も各家庭に配付しているはずですが、いざ捜すとなると見つかりません。また、見つかったとしても最新のものではありませんでした。

そこで、各自が市役所を訪れ、趣旨を説明した上で分けていただくことにしました。あま市・愛西市・弥富市・稲沢市の協力を得ましたが、一つの自治体だけ有料であったことに担当生徒は当惑していました。(事情を話すと無料で分けてくださったそうです) 対照的に、弥富市は市民がたやすく入手できるよう、ロビーの目立つ所にたくさん置いてあったようで、自然災害に対する備えの強さを感じたようです。

後述の文化祭で展示し、多くの生徒や来訪者に見ていただき、啓発活動の一助としました。



④校内避難訓練での働きかけ

2学期始業式の午後に行われた、第2回避難訓練において、2つの活動をしました。

ア 「シェイクアウト訓練」の手助け

4名が各階に分かれ、各クラスの室長とともに、「シェイクアウト訓練」（「姿勢を低く・頭を守り・じっとする）の徹底を呼びかけました。

学校祭準備中とあって、各クラスとも雑然とした中でしたが、彼女らの声に反応して、身を守る行動を取ることができたようです。

イ 「防災クイズ」の実施

体育館への避難がスムーズに完了し、学校長の講評を受けた後、前述①・②の経験で得た知識を全校生徒に伝えるため、「防災クイズ」を行いました。4択問題を10問出題し、全員にその場で考えてもらいましたが、クイズを通じて防災に対する知識と意識を高めてもらったのではないかと感じました。

以下、そのうちの3問を紹介しておきます。（答えは写真の下）

(1) 津島北高校正面玄関付近の標高は、海拔何メートル？

A -1.3m B -0.3m C 0.3m D 1.3m

(2) 関東大震災・伊勢湾台風・阪神淡路大震災に共通する事柄は？

A 死者1万人以上 B 日曜日 C 早朝 D 亥年

(3) 地球全体から見て、日本の陸地面積は0.3%ですが、日本付近で発生する地震の数は地球全体の何%でしょう？

A 1% B 3% C 5% D 10%



シェイクアウト訓練



パワーポイントを用いた「防災クイズ」

*クイズの答え

- (1) A 玄関に掲示されています。最近では街中の電柱等にも表示がありますね。
- (2) D 今年が亥年です。
- (3) D 日本が「地震大国」と呼ばれるゆえんです。

⑤文化祭での展示

これまでの実践・活動を踏まえ、9月3日に行われた文化祭において、「ボランティア部防災班」としての展示を行いました。

先述した、津島市及び周辺自治体のハザードマップと、建物における「筋交い」の効果を実感できる紙模型「紙ぶるる」を展示したところ、多くの生徒や来訪者が手に取り、興味を示してくれました。

また、②の「防災セミナー」で最も印象に残ったテーマを、4名がそれぞれB紙にまとめ、掲示しました。彼女らが選んだテーマは以下の通りです。

「亥年の災害」
「エレベーター閉じ込めの恐怖」
「正常化バイアスと多数派同調性バイアス」
「大雨警報レベルの運用について」

